

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

なすしおばら まなび博覧会開催

子どもたちや市民が学びの成果を発表し、新たな学習への興味・関心を持つきっかけとなる学びの祭典「なすしおばら まなび博覧会」を開催します。

■開催日程 11月11日(土)～12日(日)
9時30分から15時

■開催場所 宇都宮共和大学那須キャンパス
(那須塩原市鹿野崎131)

※当日は那須塩原駅からシャトルバスが出ます

■内容 児童作品展示、まなびの体験ブース、STEAM教育体験ブース、郷土芸能発表会など



青少年交流事業

大田原市では、今年度「ウエストコピナ市生徒交流事業」「小学生交流事業」を実施しました。

「ウエストコピナ市生徒交流事業」では、本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国のウエストコピナ市と隔年で学生の相互派遣事業を行っています。今年度はウエストコピナ市から6名の生徒が来日し、座禅や藍染、茶道などの日本の伝統文化を体験しました。

「小学生交流事業」では、那須与一が縁で友好親善都市の盟約を交わした岡山県井原市と隔年で小学生の相互派遣事業を行っています。今年度は、井原市から13名の小学生が本市を訪問し、大田原市の小学生19名と3日間交流を行いました。

それぞれの事業で、心の交流ができました。



【小学生交流事業の様子】

とちぎ未来大使「夢」講座

中学生を対象に、県内外で活躍するとちぎ未来大使による講話や実演等を通して、「夢」について考える機会を提供しています。今年度、本地区中学校で開催した講演及び今後講演予定の方々は、以下のとおりです。

■菊池 元男 (DJ Kei) 氏
《ラジオパーソナリティ》
「夢を叶える魔法の言葉」

■嶋 均三 氏 《方言作家》
「言葉の魅力～ふるさとに感謝～」

■音羽 和紀 氏 《(株)オトワ・クリエーションズ代表取締役オーナーシェフ》
「サービスの本質と地域食材の魅力」

■大木 浩士 氏 《都市と地域の人をつなぐ・里都プロジェクト代表》
演題未定



【菊池 元男 氏】

家庭教育支援講演会

那須町家庭教育支援講演会を開催します。
ぜひ、お越しください！

高濱先生ってどんな人？
東京大学大学院を卒業して「花まる学習会」を設立。30000人の子どもたちを見てきたからこそわかることを面白く、分かりやすく伝えてくれます。



高濱 正伸先生

■講話 令和版親だからできること

■講師 高濱 正伸 氏

■日時 11月19日(日)

13時30分～15時30分(13時受付開始)

■場所 那須町文化センター

(那須町大字寺子乙2567-10)

■参加費 無料

■申込み 二次元コード又は那須町生涯学習課(0287-72-6923)へ電話にて申込みください。





ふれあい人権のまど

【参考】日本ユニセフ協会ホームページ
https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html

「子ども」と「人権」



うわーん、悔しいにゃー！

どうしたのですか？にゃあ君。



「子どもは黙ってろ！」って…。ボクにだって考えがあるのに！

詳しい状況は分かりませんが、もしかするとその人は「子どもの権利条約」を知らないのかもしれないね。



子どもの権利条約？

そうです。「大人と同じように、子どものことを大切にします」と、世界の国々が約束したのです。

条約にはいくつもの権利について書かれています。「自由に意見を言えて、尊重される」ことも、大切な権利の1つです。



ボクにも意見を言う権利があったんだ！他にはどんな権利があるのにかにゃ？

自分にどんな権利があるのかを知ること、とても大切です。詳しい人の話を聞いてみましょう。

那須地区人権教育指導者一般研修「ふれあい人権フォーラム」で『子どもの権利』について考えてみませんか。

■日時 令和5年12月5日(火) 14時～16時(受付13時30分～) ■会場 栃木県庁那須庁舎

■内容 講話「子どもの権利を考える(仮)」 講師 浦和大学 准教授 林 大介 氏

※詳しくは、那須教育事務所ふれあい学習課ホームページに掲載の開催案内(11月初旬掲載予定)を御覧いただくか、那須教育事務所ふれあい学習課(0287-23-2177)までお問合せください。

令和5年度那須地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修

本研修は、「家庭教育支援プログラム指導者研修」修了生を対象に、プログラムの効果的な活用とファシリテーション技術の向上を目指すとともに、プログラムの活用上の課題や普及・定着のための方策を探り、保護者の学びを支援する体制づくりを目的としています。今回は本地区からだけでなく、さくら市や那珂川町からも御参加いただきました。

本年度は、栃木県総合教育センター幼児教育部幼児教育指導員の野中悦子氏を講師に迎え、「気になる子への対応～みんなが笑顔でいるために～」と題して、講話と意見交換を行いました。

講話冒頭の、「皆さんの思う『気になる子』って、どんな子ですか？私は子ども



も達全員が気になるし、気にかけています。」という問いかけによって、参加者全員が深く考えさせられました。また、「自分と他人は違う。だから、相手を認めること、褒めることが大切である。『みんなが笑顔でいるため』には、『大切だよ』『ありがとう』というメッセージを、きちんと言葉で伝えることを心がけましょう。」という話がとても印象的でした。

参加者からは、「子育ては、今も昔も基本的なことは変わらないと思う。褒めることの大切さを改めて感じた。」「一瞬の関わりや出来事でどんな子が決めてしまっていないか、自分に問うゆとりをもっていたい。」といった感想が寄せられました。

